

会員の課題、要望アンケート

国立国際医療研究センター病院

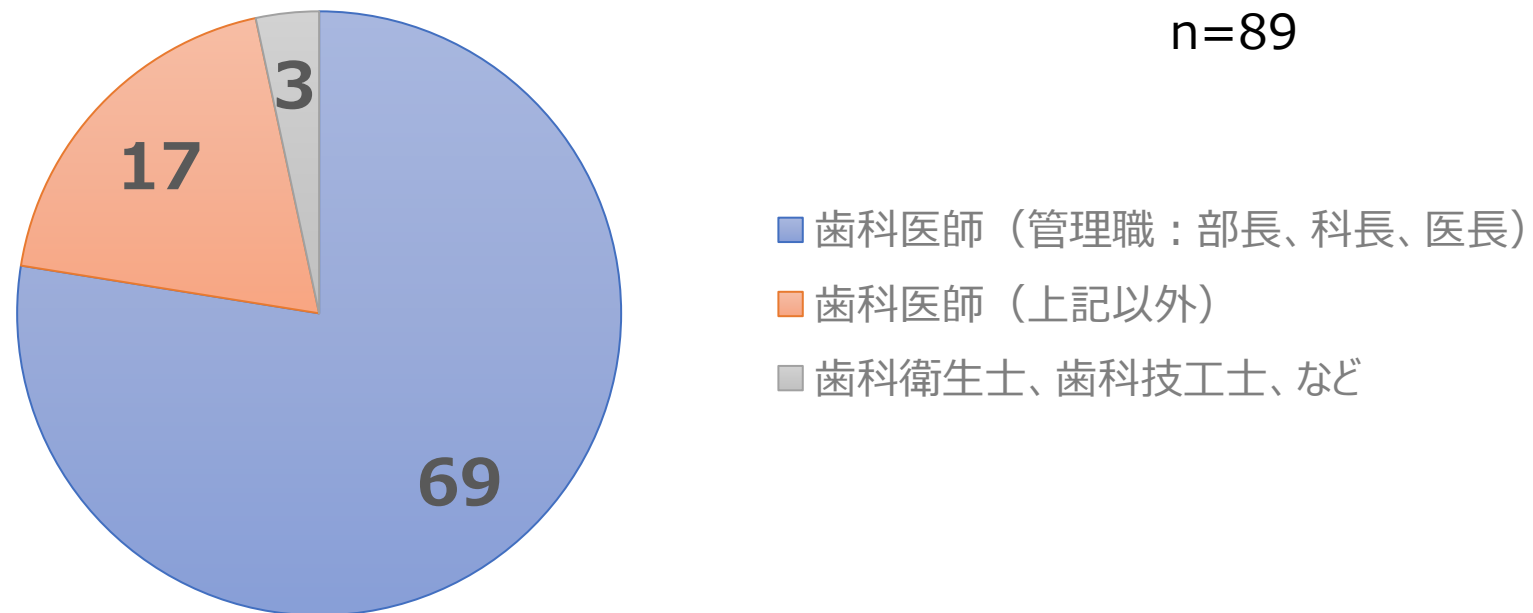
医事管理部 医事企画室

鈴木 祐輔

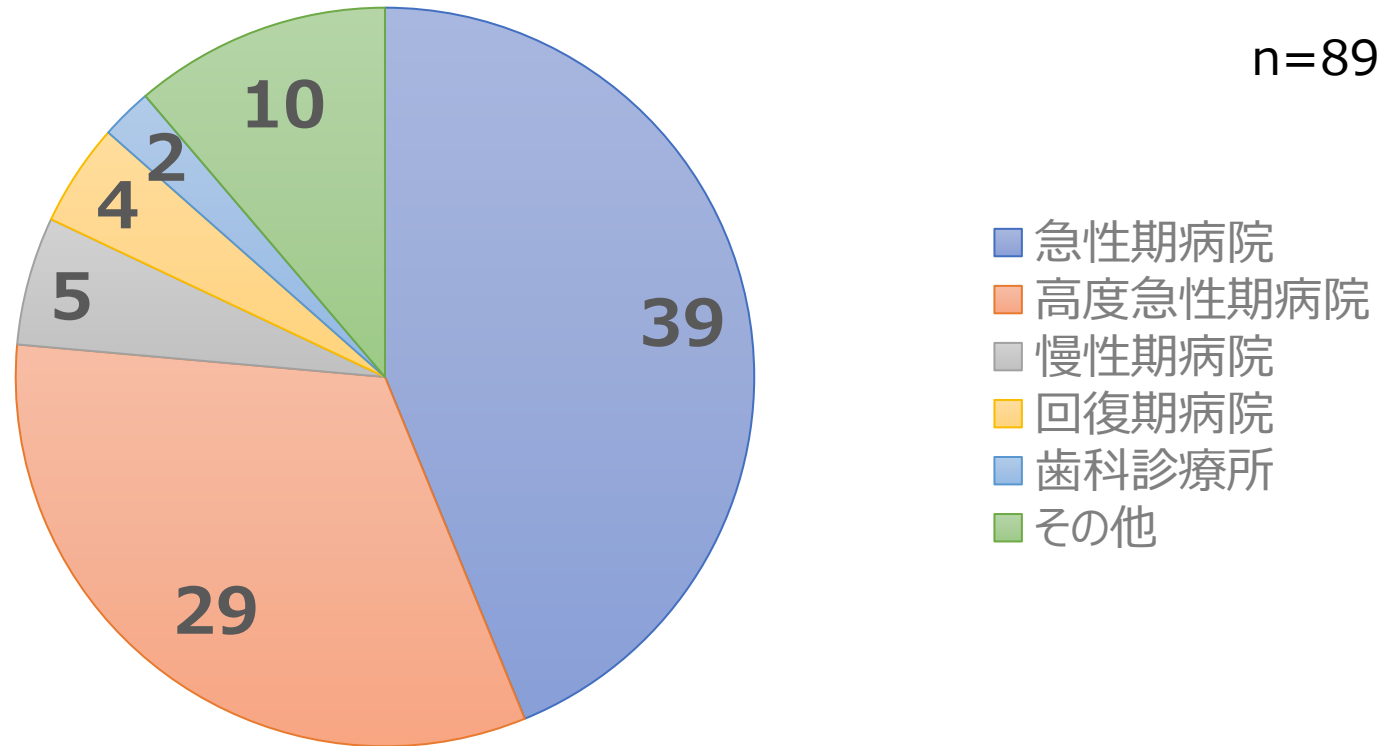
- 調査概要

全国病院歯科医協会の会員を対象にwebでアンケート調査を実施した。

- 回答者



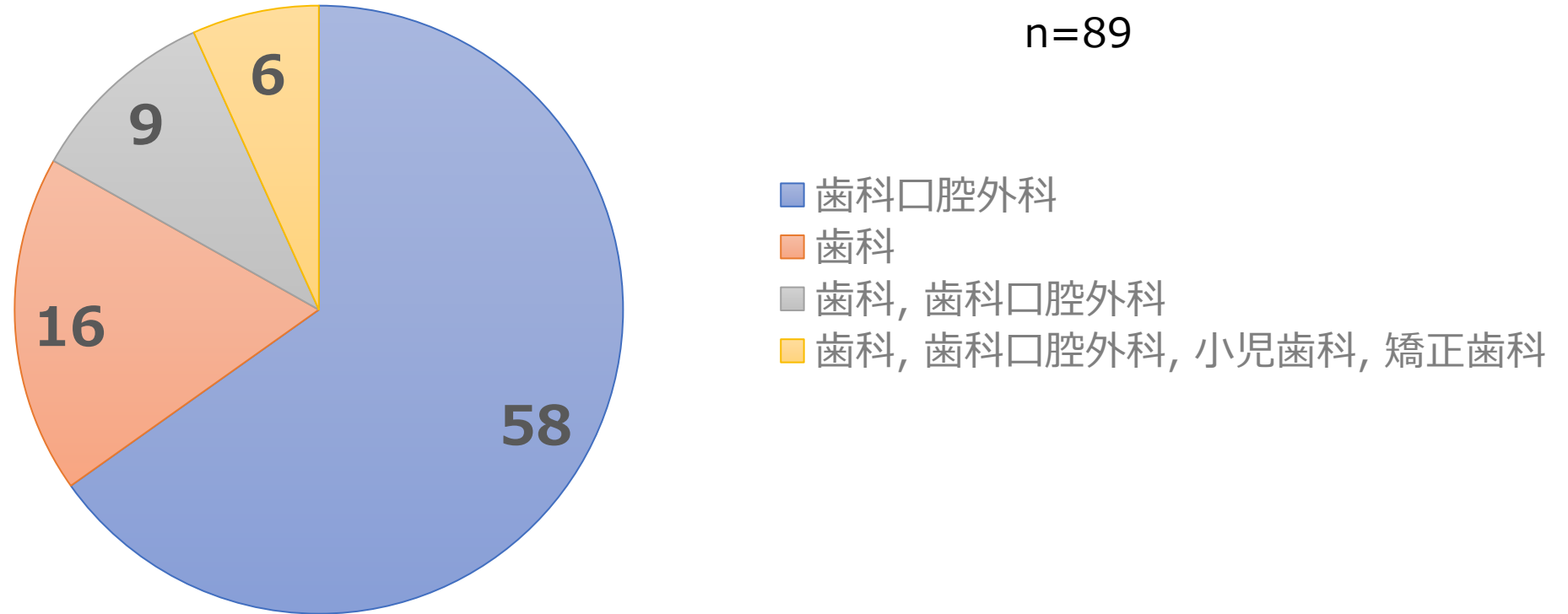
• 病床機能区分



急性期病院が39件（全体の44%）と一番多かった。

高度急性期病院と急性期病院をあわせると全体の77%を占めた。

- 歯科標榜科名



歯科口腔外科が58件（全体の65%）と一番多かった。

会員が考える病院歯科の課題

1.病院歯科の役割と連携

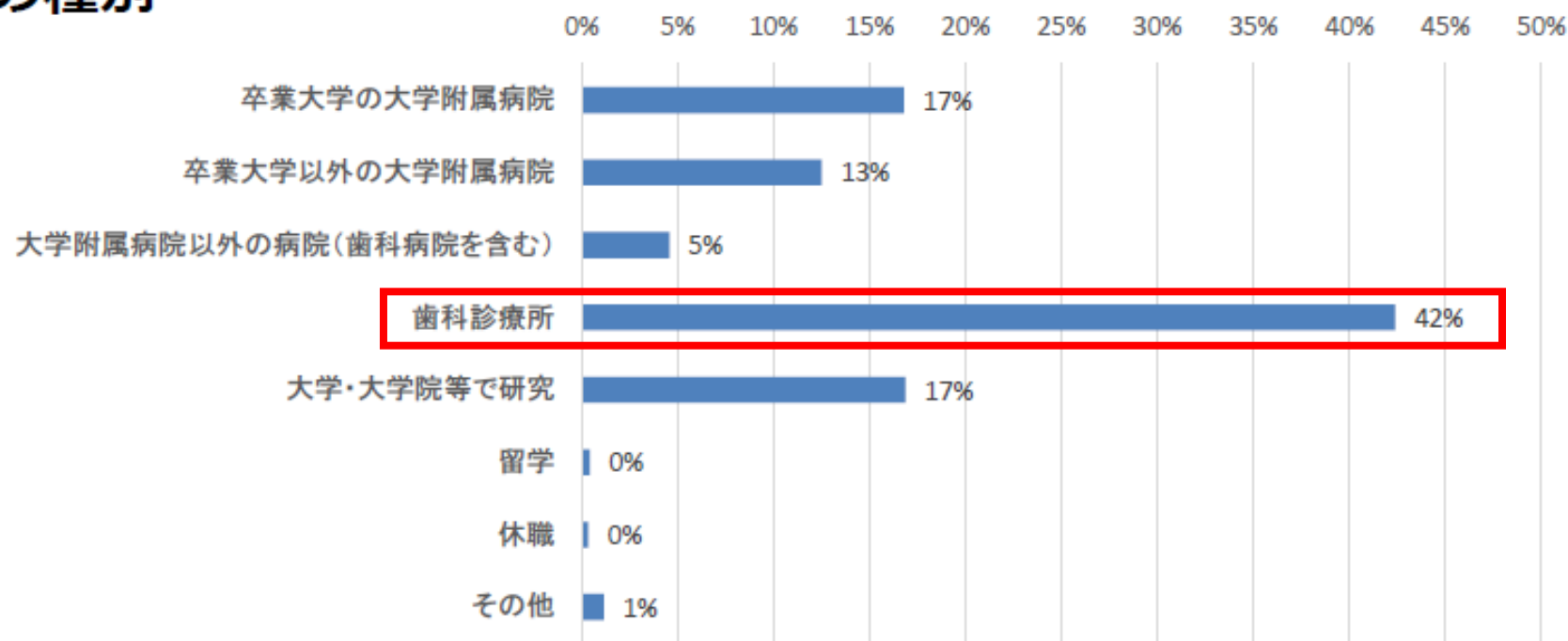
- 病院ごとに診療内容に差があり、一概に「病院歯科」として議論しづらい
- 1次医療機関との連携が十分でなく、病院歯科に不要な患者が流れてくる
- 地域の歯科診療所との連携が不足し、病院歯科に負担が偏る
- 病院歯科同士の連携が意外と少ない
- 口腔外科医以外の病院歯科医の働き口が少ない

2.人材不足・育成

- 歯科医師、歯科衛生士、技工士の確保が困難
- 若手医師の育成環境が不十分（研修終了後に辞めてしまう）
- 非常勤歯科衛生士の給与が低く、人材確保が難しい
- 医局派遣人員の不足、派遣人事が機能しづらい
- 病院勤務の歯科衛生士が孤立している

令和2年度 臨床研修修了者アンケート調査結果

○進路先の種別



医政局歯科保健課 令和3年3月実施 臨床研修終了予定者へのアンケート調査より

歯科衛生士数

- 就業歯科衛生士数は増加傾向であり、令和4年は145,183人（対令和2年：2,423人増）
- 就業場所別では、診療所が約90%、病院は約5%

就業歯科衛生士数の年次推移

平成16年	18年	20年	22年	24年	26年	28年	30年	令和2年	令和4年
79,695	86,939	96,442	103,180	108,123	116,299	123,831	132,629	142,760	145,183

就業場所別にみた就業歯科衛生士【令和4年】

（単位：人）

	歯科衛生士（人）	構成割合（%）
総数	145,183（142,760）	100.0
診療所	130,806（129,758）	90.1（90.9）
病院	7,460（7,029）	5.1（4.9）
保健所	707（671）	0.5（0.5）
都道府県※	91（70）	0.1（0.0）
市町村	1,987（2,060）	1.4（1.4）
介護保険施設等※	1,370（1,258）	0.9（0.9）
歯科衛生士学校又は養成所	1,768（1,006）	1.2（0.7）
事業所	309（301）	0.2（0.2）
その他	685（607）	0.5（0.4）

※括弧（ ）内は平令和2年調査の結果

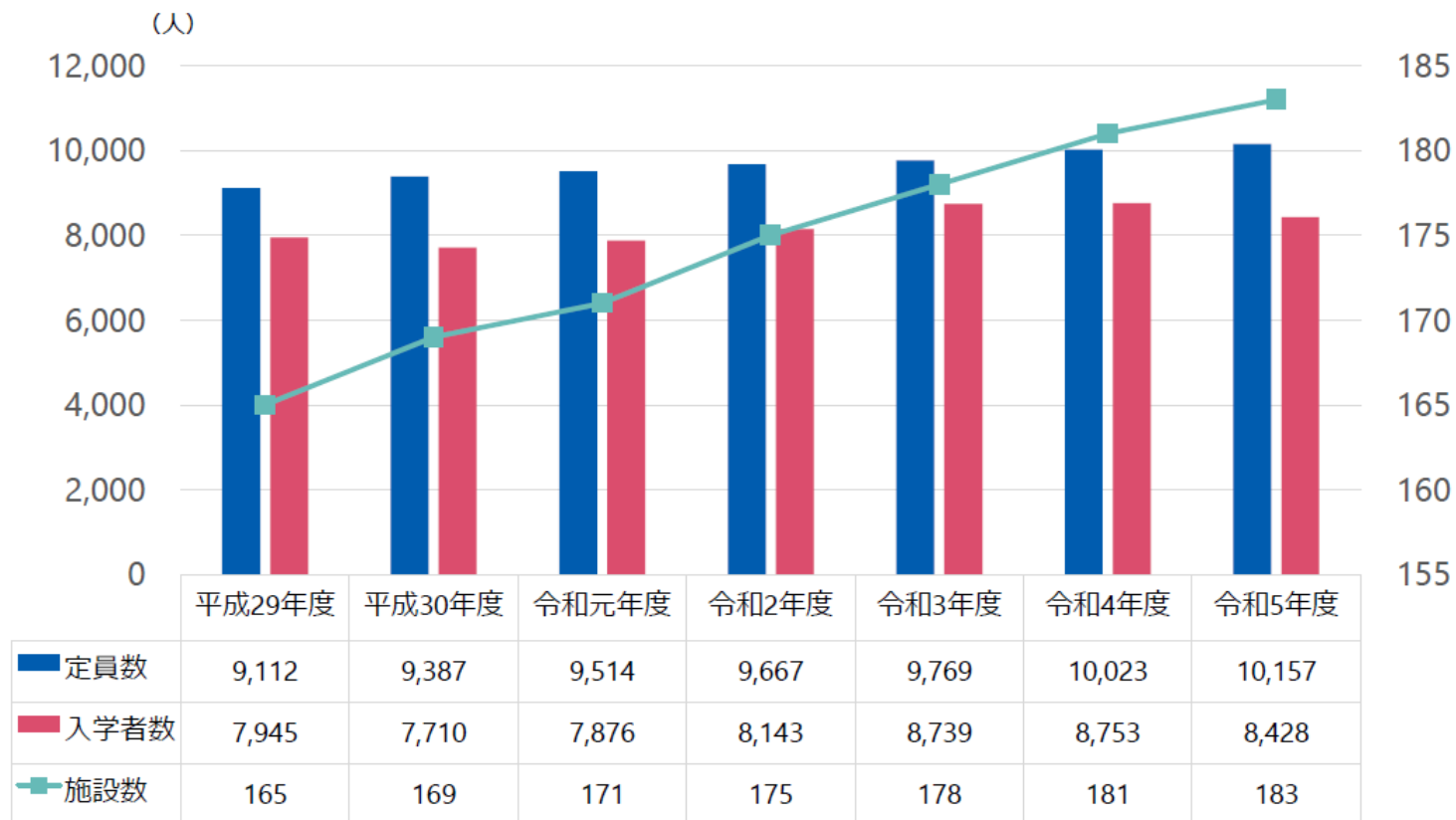
※1：都道府県は平成28年度から追加された

※2：介護保険施設等は平成30年度より介護医療院が追加されている

厚生労働省 令和4年衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況より

歯科衛生士養成施設定員数・入学者数・施設数

○歯科衛生士養成施設数は増加傾向であるが、定員数に対し入学者数は少ない。



※ただし、養成施設数は当該年度において入学者を募集している施設数を示す。

(医学教育課・歯科保健課調べ) 26

厚生労働省 令和4年衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況より

3.診療報酬・経営問題

- 収益性が低く、病院経営上のメリットが理解されにくい
- 歯科の診療報酬が医科に比べて低く、持続的な経営が困難
- 医科と比較して診療・処置の保険点数が低く、採算が取れない
- 医療材料の高騰や償還価格の問題
- 医科入院患者に対して、歯科診療所から訪問診療した方が点数が高い

4.病院内での認知度・連携

- 病院の経営陣や他科の医師に病院歯科の役割が理解されていない
- 他科（特に医科）との連携が十分でない
- 口腔管理や摂食嚥下リハの重要性が認識されにくい

5.働き方・制度の課題

- 時間外労働の上限（720時間）が医科と異なり不公平
- 働きながらのスキルアップの機会が少ない
- 女性医師が子育てしながら働く環境が整っていない

本会への要望

1.病院歯科の立場強化・発信

- 病院歯科の課題を厚生労働省や歯科医師会に積極的に働きかけてほしい
- 歯科医師会と連携して、課題に対する解決策を発信してほしい
- 病院歯科の診療報酬改定に向けたエビデンスの収集・提言を行ってほしい
- 口腔外科だけでなく、病院「歯科」としての価値向上を目指してほしい

2.教育・研修の充実

- 施設間研修や情報交換の機会を増やしてほしい
- 病院歯科勤務の研修医・レジデント向けの再就職支援をしてほしい
- 研修会や講習会をオンデマンドで配信してほしい

3.連携の強化

- 病院歯科同士の情報共有や意見交換の場を提供してほしい
- 2次医療機関・3次医療機関間の紹介ルートの特明確化
- 地域ごとでの病院歯科ネットワークを作ってほしい

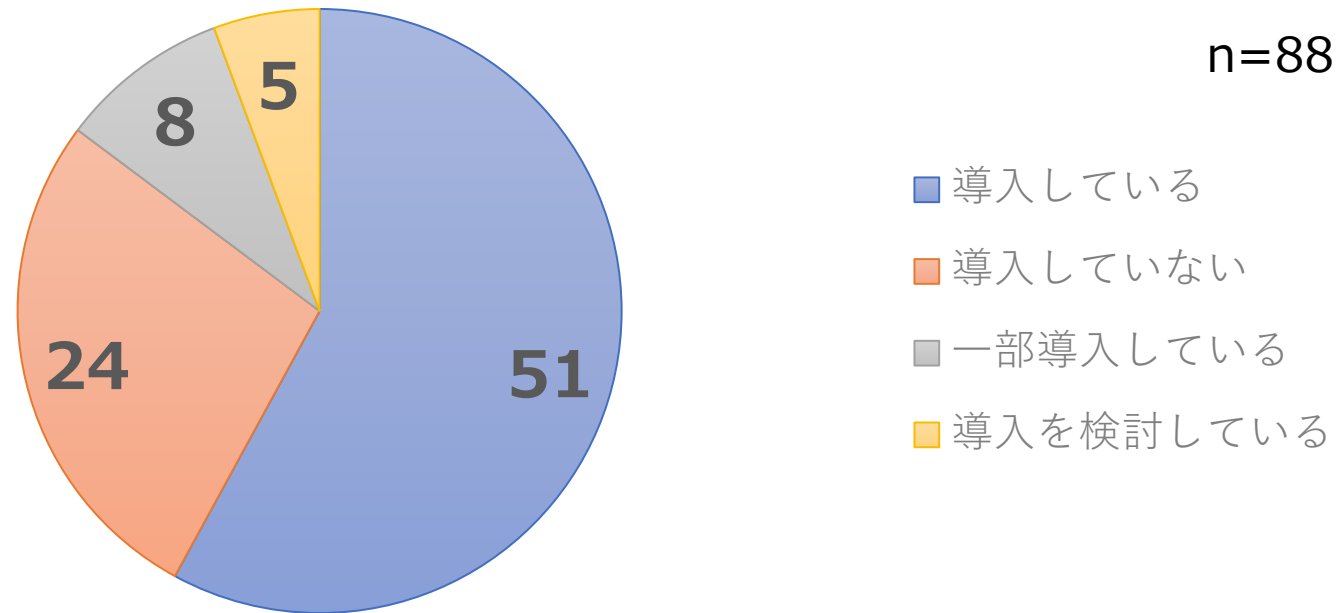
4.待遇・労働環境の改善

- 保険点数の引き上げを働きかけてほしい
- 労働時間の上限を医科と同等にするように調整してほしい
- 病院歯科勤務の歯科衛生士のキャリア形成を支援してほしい

5.その他の要望

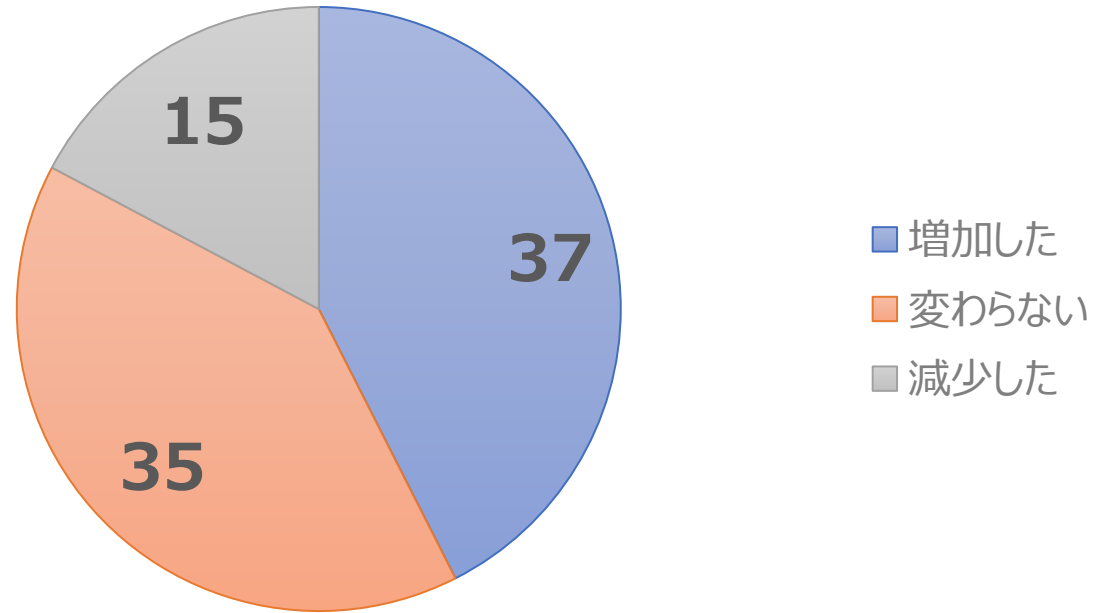
- 障害者歯科への取り組みを強化してほしい
- 医療DXやIT化を推進し、業務負担を軽減してほしい
- オフ会やサークル活動をHP上で企画してほしい
- 課題に対する一定の見解や解決策を検討するWGを設置してほしい
- 課題に対する意見交換会や研修会を開催してほしい

• 歯科システムの導入

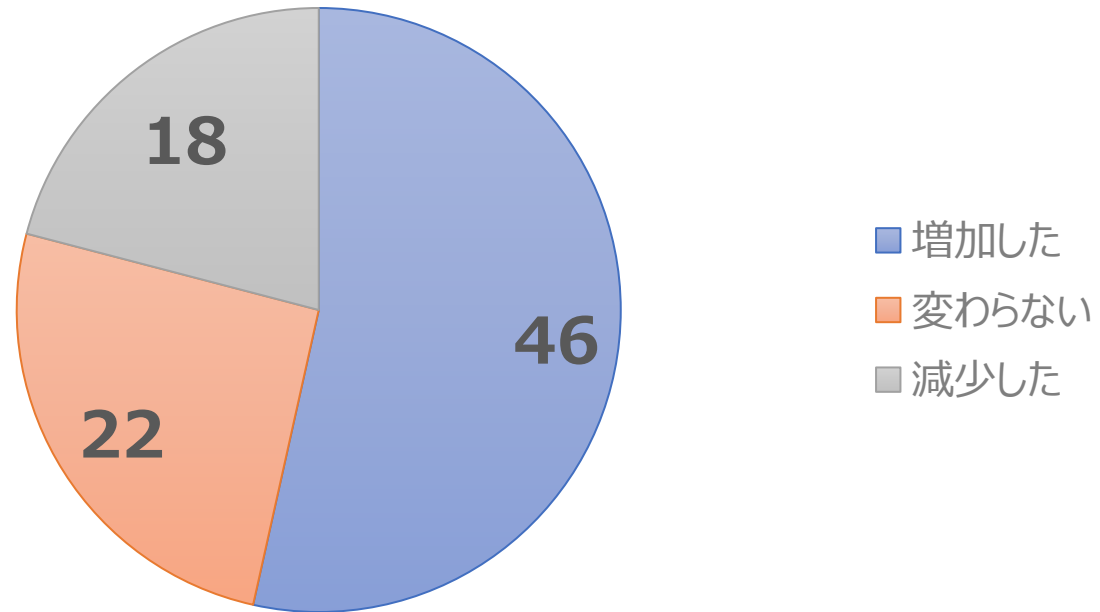


「導入している」または「一部導入している」と回答した施設が59件（全体の67%）だった。

- 2024年の外来患者数（2019年との比較）



- 2024年の保険診療収入（2019年との比較）



- 2024年の自由診療収入（2019年との比較）

